

日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなろ

2025年10月
第320号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

裏金問題でついに自公体制崩壊

日本共産党と
赤旗の追及から

第52回 植田和子 議会報告会
くらしと政治を語り合うつどい
市民のくらし・教育・医療を守ろう!!

11月2日(日)13:00~14:45
北部公民館 第2会議室

9月議会での一般質問の審議をお話しします。紙面に載らない裏話なども。国政についてもご意見をお聞かせください。自公政治崩壊の問題などなんでも語り合います。お問い合わせしておいでください。入場は無料です。

くらし優先の新しい共闘を

自民党が裏金を離脱した。国民のくらしの困窮に目も向けぬ自民党の権力抗争は、誰が総裁になっても結果は見えていたかもしれない。高市早苗氏が総裁になって5日目の出来事は「女性初の総裁

に日本共産党が大きくなり、ほかの野党から外せない存在にならなければならない。アメリカ言いなりに長距離ミサイルを配置するなど軍備を増強し、日本全土を危険にさらす戦争の準備をする政治から「国民のくらし優先の政治を」「対話の外交を」と、草の根からも「野党は共闘」の声をあげ続け、新しい政治をつくる頑張

り時。美原 K

がソリン税暫定税率撤廃で可決

10月8日水曜日の、9月議会が閉会しました。9月議会も、様々な陳情が市民の方から出されました。日本共産党流山市議員は、6本の意見書を提案しました。今回は可決された2本を紹介し

す。議会の細かい内容は、議会報告会の中でお話させていただきます。◇ガソリン税の暫定税率撤廃を求める意見書 19対8 可決 《反対した議員》 自民党2人、公明党4人 無所属の鈴木、矢口議員

再稼働やめ
原発から撤退を!!

自民党2人、公明党4人 無所属の鈴木、矢口議員 ほかの意見書について

こんにちは 植田和子です



10月12日 9月議会

でも一言もなく、農地転用の許可を出した農業委員会に、陳情の思いと項目が合致していませんでした。

また、地権者は今まで1人で田んぼを守ってきたそう、経済的負担と労力の面で休耕田となつてしまいましたが、今回、民間事業者と共同で畑に変わすとのこと、地権者の意向が反映されていることもわかり、やむを得ないと私達は判断しました。ただ、陳情項目には賛同できませんが、市民の願いには共感できますので、この陳情に対する態度表明は明確にせず棄権しました。(詳細は市議会ホームページで野々下や古岡木の里山は東部地域なので、北部地域のみなさんにはピンとこないかもしれませんが、この議会で、南部、中部、北部に在住の多くの市民の方から連日市議会ホームページにメールが寄せられましたので、全体的な陳情と捉え、お知らせさせていた

植田

ヘッドライト

26年間続いた自公連立政権が終わったようだ。連立はこの間何を果たしたのだろうか。自民党の政策を批判する風情をみせながら、少々色を付けて「自民の暴走にブレーキをかけた」と称して自民の悪政を崩壊から救ったというの

悪政擁護の責任



赤字額・赤字割合過去最大

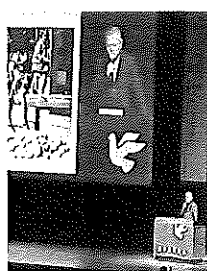
診療報酬は上がらず、必要時に必要な医療を受けることは憲法25条で保証された権利です。国の責任によって安心して医療が受けられるようにしたい。

今医療機関が危機に瀕しています。国の社会保険給付を削減したため、過去最大の倒産・廃業が相次いでいます。69%の病院が赤字の状況です。

今医療機関がなくなる危機

地域住民の医療に困難が生まれていることが無いよう、必要な時に必要な医療を受けることは憲法25条で保証された権利です。国の責任によって安心して医療が受けられるようにしたい。

第70回 日本母親大会・東京 「核兵器も基地も原発も戦争もない平和で明るい未来を」 子どもたちに手渡すために



ナリストの布施祐仁さん(写真左)による「戦後80年と不戦の決意」



模範的国際フォーラムのホールで、フリージャーナリストの布施祐仁さん(写真左)による「戦後80年と不戦の決意」

第70回「日本母親大会・東京」が9月28・29日(日・月)の両日、東京で開催されました。

9月28日 所の見学分科会、17の問日3力 題別の分科会に分かれて講演や、意見交換など、活発な討論が行われました。29日は全体会。2日間で13000人がつどいました。全体会は、5000人収容規模の東京国際フォーラムのホールで、フリージャーナリストの布施祐仁さん(写真左)による「戦後80年と不戦の決意」

日本とアジアを再び戦場にしないために」の講演がありました。「日本列島全体が『不沈発射台』になる長距離ミサイル軍拡を進めている。戦争になれば基地のある地域は無数の犠牲者が出る。日本全土が攻撃対象になる。対話の外交を最優先にして戦争は回避しなければ」との話しに会場から大きな拍手と共感の声がありました。

その後、舞台いっぱいに登壇した方たちから、全国各地での闘い(写真右)が次々と報告され、そのたびに大きな拍手がわきました。

「核兵器も基地も原発も戦争もない平和で明るい未来を子どもたちに手渡す」

渡す」想いが会場いっぱいの参加者の願いとなつた力強い意思統一の場となりました。

ガザへの攻撃をやめ、今すぐ停戦を

大会終了後、新日本婦人の会が呼び掛けて、イスラエル抗議行動が有聲になりました。



町イートンア前で行列。ガザの子供たちを救え」と、全国の闘う仲間たちが訴えました。 Y・K

「くらしと憲法」

四谷姉妹の憲法漫才&トークで学習

10月12日(日) 初石公民館ホールで第15回流山高齢者の集い「くらしと憲法」が開催されました。150人が参加しました。

第一部は、四谷姉妹(東京法律事務所青龍美和子・岸松江両弁護士)の憲法漫才&トーク講演です。



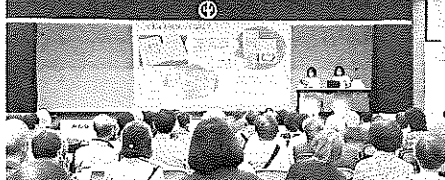
憲法クイズを所々に組み入れて笑いを誘った。初石公民館ホールで第15回流山高齢者の集い「くらしと憲法」が開催されました。150人が参加しました。

第15回 流山市高齢者の集い

10月12日(日) 初石公民館ホールで第15回流山高齢者の集い「くらしと憲法」が開催されました。150人が参加しました。

第一部は、四谷姉妹(東京法律事務所青龍美和子・岸松江両弁護士)の憲法漫才&トーク講演です。

「人間は生まれながら生きる権利を持っている(人権)」と話が始まり、



憲法クイズを所々に組み入れて笑いを誘った。初石公民館ホールで第15回流山高齢者の集い「くらしと憲法」が開催されました。150人が参加しました。

◎人々の人権を守るために権力を縛るのが憲法。◎人間らしく生きるためには自由と平等を。◎人権はどんな人でも平等で、憲法によって守られている。◎排外主義・差別は戦争への入り口。と。

講演は次々に現状の問題点を指摘していきまし

営めるようにするための制度。医療、命を守るのが国の責務。低額な診療報酬・病院の経営悪化・医療従事者の大量離職をして医療崩壊へ。介護報酬の引き下げで訪問介護事業所6割減収で介護崩壊も。

一方で、防衛費(軍事費)は聖域なし、企業・団体献金でゆがめられる政治、更には家父長制から生じる女性蔑視、男らしく、女らしく等のジェンダー後進国であることも。今どう生きるかを考えさせられる講演でした。

第二部は合唱団フレンドズによるコーラス、のこぎり演奏などがあり、最後は全員で「青い空は」を合唱して終わりました。勉強したり、笑ったりととても良い一日を過ごすことができました。 N

「赤旗日曜版」がスマホで見られる電子版に

10月2日から日曜版をスマホで見られる電子版が始まりました。通勤時やちょっとした時間に記事を読んだり、SNSで発信・拡散することもできます。QRコードから詳細をお確かめください。

「赤旗日曜版」がスマホで見られる電子版に。10月2日から日曜版をスマホで見られる電子版が始まりました。通勤時やちょっとした時間に記事を読んだり、SNSで発信・拡散することもできます。QRコードから詳細をお確かめください。

お気 軽にお 申し込 みを!!

10月2日から日曜版をスマホで見られる電子版が始まりました。通勤時やちょっとした時間に記事を読んだり、SNSで発信・拡散することもできます。QRコードから詳細をお確かめください。

お気 軽にお 申し込 みを!!

10月2日から日曜版をスマホで見られる電子版が始まりました。通勤時やちょっとした時間に記事を読んだり、SNSで発信・拡散することもできます。QRコードから詳細をお確かめください。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円

スクープで話題の赤旗をあなたも読んでみませんか? 知りたい情報満載です

●玉木寛 自民は是非か 玉虫色

●麻生高市 タッグで総理が 遠くなり

●ノーベル賞 「なぜ俺じゃない」と おかんむり